

# ダイニングメッセージ

cocoratte

チェスのコマの略称として、クイーンはQ、キングはK、ルークはL、ビショップはB、ナイトはN、ポーンはPである。

ミス터리マニアでチェス好きの二人があるときチェスを、  
していた。そしてこんな話になった。

「ぼくは昔、殺人事件を解決したことがあるんだよ」とK氏はいった。

「ほう、君が優秀なのは知っていたが、それはすごい。どんな事件だったんだ」とその対戦相手の男はいった。K氏は続けていった。

「それはキングがチェックされた譜面だった。それを見た警察は、それを  
ダイニングメッセージだと考えたんだ。そこでぼくに依頼が回ってきたわけさ」

「なぜ、ダイニングメッセージだと思ったんだい？」とその男はいった。

「それは、被害者の血の跡がついていたチェスの駒のためさ。それが事件現場で、殺人のあと、  
動かされていたためだよ」

そのときの対戦相手はお互いに憎み合っていた関係。喧嘩になってもおかしくない。  
と、K氏はいった。

「ほう、なかなか面白い。それで君はなんと推理したのかね？」

「これはダイニングメッセージにみせかけた、犯人の挑戦。とね」

「なんだって。なんで、そんなことを！？」と男は驚いていった。

「ぼくの氏名がK氏だということを思い出したまえ。チェックされたのは、キング（K）。  
つまりこれは犯人からの挑戦状さ」

「なるほど。するとダイニングメッセージではなく、犯人は被害者を予め殺した後、  
捜査をかく乱させるために、被害者の腕を使って、チェスの駒を動かしたんだな」

「で、調査当局は結局、そのときの対戦相手を逮捕したよ。彼は尋問の末、殺害を認めた。そし  
て死刑になった」

とK氏は自慢そうにいった。やれやれ、みんな本当に騙されやすいな。と微笑みながら。